



2025年1月22日

各位

東京都港区海岸一丁目2番3号
株式会社インフォーマート
代表取締役社長 中島 健
(コード番号：2492 東証プライム市場)
問合せ先 財務・経理上席執行役員
荒木 克往
電話 (03)5777-1710

通期業績予想の修正及び特別損失の計上並びに次期業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2024年2月14日に公表しました、2024年12月期の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。また、2024年12月期におきまして、特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

併せて、2025年12月期の通期業績予想につきましてもお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正

(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,086	1,000	780	539	2円38銭
今回発表予想 (B)	15,626	1,197	1,183	649	2円87銭
増減額 (B) - (A)	△459	197	403	110	
増減率 (%)	△2.9	19.7	51.7	20.5	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	13,363	830	632	298	1円31銭

(2) 修正の理由

売上高は、「BtoB-PF FOOD事業」の「BtoBプラットフォーム 受発注」において、外食チェーン及びホテル旅館業態等の新規利用の増加及び、2024年8月の料金改定のプラス影響により通期計画を上回る見込みである一方、「BtoB-PF ES事業」の「BtoBプラットフォーム 請求書」において、インボイス制度特需が予想以上に落ち着き、新規利用が遅れたことにより、「BtoB-PF ES事業」及び会社全体では通期計画を下回る見込みです。

利益面は、売上原価（「BtoB-PF ES事業」の「BtoBプラットフォーム 請求書」の顧客紹介手数料等及びソフトウェア償却費）の一部未発生及び販売費及び一般管理費（支払手数料等）の一部未発生により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みです。以上から、業績予想を修正することといたしました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の保有する固定資産のうち、収益性の低下がみられたソフトウェア資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 318 百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みです。

（注）上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

3. 次期業績予想

(1) 2025 年 12 月期通期連結業績予想数値

（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

（単位：百万円、％表示：対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額
通期	19,491	24.7%	2,300	92.1%	2,283	92.9%	1,356	108.8%	5 円 99 銭

(2) 次期連結業績の見通し

2025 年 12 月期通期の見通しにつきましては、売上高は、「BtoB-PF FOOD 事業」及び「BtoB-PF ES 事業」、両事業の利用拡大により成長が続く見通しです。

「BtoB-PF FOOD 事業」の「BtoB プラットフォーム 受発注」は、業務のデジタル化を求めるフード業界の買い手企業（外食チェーン、ホテル、旅館、給食等）とその店舗の新規利用企業数が増加することに加え、2024 年 8 月に実施した料金改定により、システム使用料売上及びセットアップ売上が増加する見通しです。また、「TANOMU」の利用も拡大し、システム使用料売上が増加する見通しです。

「BtoB-PF ES 事業」の「BtoB プラットフォーム 請求書」は、当社の強みである大手企業を中心とした新規利用企業数の増加及び、取引先の多い既存大手企業とそのグループ企業の利用が堅調に進むことに加え、2025 年 4 月に料金改定を実施することから、システム使用料売上及びセットアップ売上が増加し、引き続き高い成長を維持する見通しです。また、「BtoB プラットフォーム TRADE」の利用も拡大し、システム使用料売上が増加する見通しです。

以上から、売上高全体は 19,491 百万円（前期比 24.7%増）となる見通しです。

売上原価は、「BtoB プラットフォーム 請求書」の新規顧客紹介手数料等が増加するものの、サーバーのクラウド移行を 2024 年 9 月に実施したことにより、データセンター費が大幅に低減することから売上原価全体が減少します。その結果、売上総利益が大幅に増加する見通しです。

販売費及び一般管理費は、事業拡大に必要な営業及び営業サポート人員の補強と人的資本の充実を目的とした 2025 年 1 月からのベースアップによる人件費の増加及び、株式会社タノムの株式の追加取得によるのれん償却費の増加等により増加する見通しです。

以上から、売上高の増加及び売上原価の低減が、販売費及び一般管理費の増加を吸収し、また、「BtoB-PF ES 事業」が黒字転換する見通しから、営業利益は 2,300 百万円（前期比 92.1%増）、経常利益は 2,283 百万円（同 92.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,356 百万円（同 108.8%増）となる見通しです。

(3)2024年12月期及び2025年12月期 セグメント別連結業績予想数値

(単位：百万円)

	2024年12月期				2025年12月期		
	前回発表 予想(a)	今回発表 予想(b)	差異 (b-a)	前期比	予想 (c)	前期増減 (c-b)	
売上高	16,086	15,626	-459	16.9%	19,491	3,865	24.7%
BtoB-PF FOOD	9,767	9,944	176	17.7%	12,054	2,110	21.2%
BtoB-PF ES	6,318	5,682	-636	15.6%	7,437	1,755	30.9%
売上原価	6,412	5,976	-435	3.4%	5,913	-62	-1.0%
BtoB-PF FOOD	3,482	3,411	-71	5.1%	2,793	-618	-18.1%
BtoB-PF ES	2,929	2,564	-364	1.1%	3,119	555	21.7%
売上総利益	9,674	9,650	-23	27.2%	13,578	3,927	40.7%
BtoB-PF FOOD	6,284	6,532	247	25.6%	9,260	2,728	41.8%
BtoB-PF ES	3,389	3,117	-271	31.1%	4,317	1,199	38.5%
販管費	8,674	8,452	-221	25.1%	11,278	2,825	33.4%
BtoB-PF FOOD	4,755	4,589	-165	42.3%	6,968	2,378	51.8%
BtoB-PF ES	3,918	3,863	-55	9.5%	4,309	446	11.6%
営業利益	1,000	1,197	197	44.2%	2,300	1,102	92.1%
BtoB-PF FOOD	1,529	1,942	413	-1.7%	2,292	349	18.0%
BtoB-PF ES	-529	-745	-216	-	7	752	-
経常利益	780	1,183	403	87.3%	2,283	1,100	92.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	539	649	110	117.6%	1,356	706	108.8%

売上高売上総利益率	60.1%	61.8%	1.6%		69.7%	7.9%	
BtoB-PF FOOD	64.3%	65.7%	1.3%		76.8%	11.1%	
BtoB-PF ES	53.6%	54.9%	1.2%		58.1%	3.2%	
売上高営業利益率	6.2%	7.7%	1.4%		11.8%	4.1%	
BtoB-PF FOOD	15.7%	19.5%	3.9%		19.0%	-0.5%	
BtoB-PF ES	-	-	-		0.1%	-	
売上高経常利益率	4.9%	7.6%	2.7%		11.7%	4.1%	

以 上